

ほし組

令和7年7月

こっちはらいさい

おおきい
たまねぎだね！

数・図形などの
関心・感覚



目がいたくなってきた…

言葉による
伝え合い



ぼくにもスポンジ
貸して～

べちょべちょに
なった～



図形の関心・感覚

こっちはとうとう。
そっちは？



思考力の芽生え



タオルをごしごし
泡ができた～

豊かな感性と表現

これを使ったら
泡ができたはず…

思考力の芽生え

スポンジどうぞ

言葉による伝え合い



片栗粉粘土遊び

雨で園庭で遊ぶことができない日、片栗粉を使って粘土を作って遊びました。粘土で遊ぶことが大好きなほし組の子ども達。まずは片栗粉の感触から…。「サラサラできもちいいな」「ワフワフするな」と話をしながら触っていました。次に「水を入れるよ～」と片栗粉に水を入れると、「キャ～」と言いながら見していました。ボールによって水の入れる量をあえて変えて様子を見ていると、片栗粉の硬さの違いに気づき始める子ども達。

粉のままのボールに「もうちょっと水を入れてみる？」と水を入れることで水の量によって違いが出ることに気づいたようで、声にはしませんでしたが、「もっと水入れて～」と水の追加をするように。遊びを通してたくさんのこと学んでくれているなど改めて気づかされたように思います。

洗濯遊び・泡遊び

「みんなが使っているタオルを洗濯しよう」と洗濯ごっこをして遊びました。タライに石鹼を準備しておくと、タオルに石鹼をゴシゴシ。するとどんどんと泡だつていきました。洗濯よりも泡のワフワフ感や水がトロトロになっていくことを喜びだす様子が見られました。その後はスポンジを使っての泡作り。また泡遊びから「シャボン玉できるかな」という声も聞かれたので、シャボン玉で遊ぶ準備もしておきました。

どのようにすれば泡がモコモコになっていくのか、どうすればシャボン玉ができるようになるのか子ども達なりに試行錯誤中です。